

議会と行政と住民の役割をどう考えるか 安心・安全のまちづくりネットワークについて 巨大地震に対する防災対策を急げ ／子供の安全を守るためのネットワークは 子どもたちの日本語力の低下について

倉地幸子
議員

議員定数は議会が責任を持って決めるべき

Q 12月議会で議員定数は14名と決まったが、

区長会はまだまだ多いと議会解散署名を主張。町長は「解散署名をしない代わりに6月以降の議会で12名を提案する」と議会で話し合いもなく区長会と約束の上、新聞発表。こんな形でしか決められないとは議会として情けない。憲法で保障されている議会の重要性からして議員は慎重に調査・論議して責任を持って決めるべき。私が調べた50あまりの他県の議会にはない事である。町長が介入することではない。

A できればそうしたいが、区長会と議会の関係の現状からしたらやむをえず、調整に入るのが良いと判断した。議会解散署名をやると町政が混乱する。区長会と話し合った結果であるので議会でも十分議論

してほしい。

活断層による直下型地震への啓蒙を急げ

Q 30年以内の東海地震の発生確率は87%、

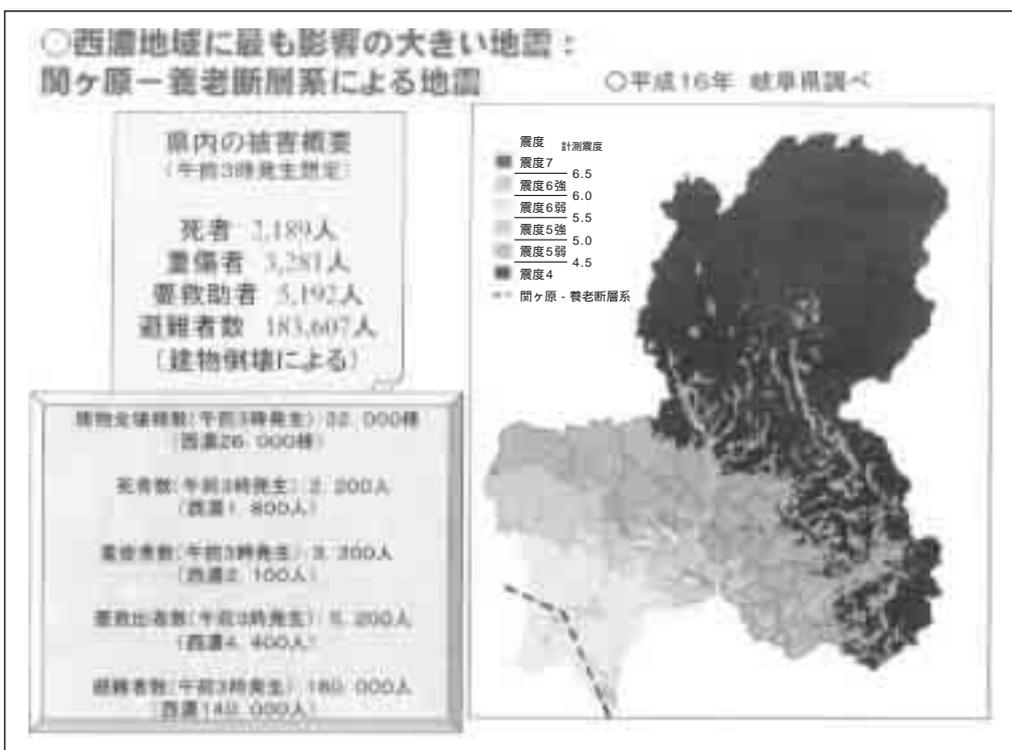
南海地震は50%、東南海地震は60%までになっている。その影響で養老〜関ヶ原活断層による地震被害が懸念されている。防災会議と対策はどうかっているか。

A 今年は防災無線を設置したので防災会議を開き、組織の充実と対応を検討する。

子供たちの日本語力(国語力)の低下を防ぐために

Q 国語力はすべての教科の基本的な力である。そのために学校の果たす役割は。

A 早朝読書や学校図書館を利用した総合学習の成果で読む・話す力はついてきた。特に八幡小学



校は3年連続で西濃図書館優秀賞を受けている。今後は聞く・書く力の不足を補いたい。